

## 健康福祉科学科

## 田中 英樹



## 田中ゼミとは

田中英樹研究室は、Eスクールを含む学部では専門（地域福祉）ゼミ、大学院では精神保健福祉ゼミと二枚看板です。その一つ、地域福祉はこれまでの「地域における福祉」という一つの分野的位置づけから、これまでの分野や制度や属性別の社会福祉を横断し、基本的発展方向の中軸となるステータスに押し上げられました。またもう一つの精神保健福祉は、うつ病や自殺、アルコール健康障害に代表されるように精神疾患の増大と深刻化により、人々の精神的健康を高めることや、予防活動やリハビリテーション、偏見を解消するなどを重視しています。

## 研究関心と動向

研究者自身の学問的関心は主に次の3点です。第1に、コミュニティソーシャルワーク（CSW）という社会福祉援助技術の体系的な理論を構築し、実践を全国に普及することです。これは、我々仲間が1995年に創設したNPO法人日本地域福祉研究所や大阪府社会福祉協議会を中心に21世紀から展開してきました。CSW養成では2005年度から3,000人以上を養成し、その成果はNHKドラマ「サイレント・プアー」で2014年4-5月（毎週火曜日全9回）に放映されました。理論面では2014年12月に書籍が中央法規より出版されます。第2に、地域福祉（活動）計画の策定及び進行管理や評価に関する研究です。研究者は地元所沢市を始め、豊島区、飯能市、千葉県、富山県、鶴岡市、諫早市など全国で地域福祉実践を理論化する拠点となるフィールドに関わっています。草の根の活動や先進的な実践でSWOT分析やBSC（バランススコアカード）の普及が進展しています。第3に、地域精神保健福祉を前進させる理論と実践を統合した取り組みです。このために、学会活動と東アジア国際比較研究に力を入れています。日本精神障害者リハビリテーション学会や日本精神保健福祉学会では役員を担い、日本精神科救急学会、日本デイケア学会、日本精神保健福祉政策学会などにも参加しています。また、韓国、中国、台湾との研究者の文脈を作り交流を進めています。

## 学部ゼミ生への指導

社会福祉分野と精神保健福祉の研究関心を掘り下げ、文献研究やフィールド学習、定期的なゼミ日の討論等を中心に進めています。主たる参考文献は、雑誌「コミュニティソーシャルワーク」と学術誌「精神障害とリハビリテーション」です。ゼミ合宿を年2回実施しています。地域に出かけるフィールド研究では、所沢市、飯能市、豊島区を中心に住民の座談会に参加したりしています。また、就職活動の支援や社会福祉士の国家試験対策も独自に行っています。研究テーマに関しては、社会福祉もしくは精神保健福祉に関していけば自由です。テーマ決定には丁寧にアドバイスしています。これまでの主な研究テーマは以下のようなものがありました。福祉哲学の研究、まちづくりと福祉の研究、自治体の社会福祉行政比較（特別区、指定都市、港湾都市の比較）、地域福祉計画（計画策定のプロセス研究、指定都市の福祉事業比較研究、評価研究、住民参加）の地域比較研究、小地域ネットワーク活動、障害者施策の歴史研究、障害者の就労支援、精神障害者福祉の研究、教科書に見る精神障害者の取り上げられ方、自殺予防の研究、児童虐待の研究、美容整形とソーシャルワーク、社会福祉専門職の東アジア比較研究、コミュニティソーシャルワーク、バランススコアカード（BSC）などです。卒業研究は3年次秋から始めて4年次の11月初旬の完成をめざしています。なお、学期での目標は次のようになります。

**春学期の学習目標** 1) 研究のテーマを考える素材を提供します。2) 研究の方法と論文の書き方を身につかせます。3) 社会福祉に関する幅広い問題意識を涵養します。

**秋学期の学習目標** 1) 単に地域福祉に関する基礎的な知識を培うのではなく、地域福祉に関して感じ考える力を涵養します。2) 卒業論文の題材を考える素材を獲得します。3) 論文の書き方を習得します。4) 社会福祉士国家試験受験希望者には、別途4年生の時に特別合宿も予定します。なお、Eスクールも通学生に準じてゼミを実施しており、学期ごとに数回のスクーリングも行っています。

【ゼミ風景（北海道知床半島にて）】



【4年の卒論ゼミ】4年に進級した後は、とくに春学期は就活が忙しくなります。そのために土曜日も活用し、月2回のロングゼミに切り替えます。秋学期は卒論の仕上げと社会福祉士受験学習を中心に指導します。

【大学院生への指導】かなり個別性が高く、修士論文の指導が中心となります。これまでは、韓国や中国からの留学生も多く、東アジア比較が中心でした。今後は、地域福祉研究の分野でも国内比較、国際比較ができるように進めていく予定です。

《学生の主な就職・進学先》全国社会福祉協議会、高齢・障

害・求職者雇用支援機構2名、社会福祉法人5名、医療機関MSW 3名、東京都庁、渋谷区役所、新宿区役所、品川区役所、豊島区役所2名、大田区役所、名古屋市役所、武蔵野市役所、我孫子市役所、松戸市役所、所沢市役所、豊島区民社会福祉協議会、敦賀市社会福祉協議会、大手医療機器メーカー、日本銀行、野村証券、三井住友証券、CMBC日興証券、静岡TV朝日、東芝、ANA、セコム、明治製菓、高島屋、フランスベットの、トーカイ、セプティニー、通信機器メーカー、ブライダル企業、美容整形カウンセラー、ベンチャー企業、本学大学院、上智大学大学院、留学etc.